

WEB SITE.

ホームページのご案内

<http://www.mimaki.co.jp/>

当社は積極的な情報開示を行っております。
ホームページも是非ご覧ください。



お問い合わせ

Top Page

Topics

IR Page

個人投資家の皆さまへ

株主の皆様のお声を聞かせください

株主様向けアンケート

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、株主の皆様のお声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、右記の方法にてアンケートへのご協力をお願いいたします。

- アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間（2007年8月31日まで）です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝（図書カード500円）を進呈させていただきます。



<http://www.e-kabunushi.com>

アクセスコード 6638

いいかぶ

検索

Yahoo!、MSN、exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索してください。



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。（タイトル、本文は無記入）
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



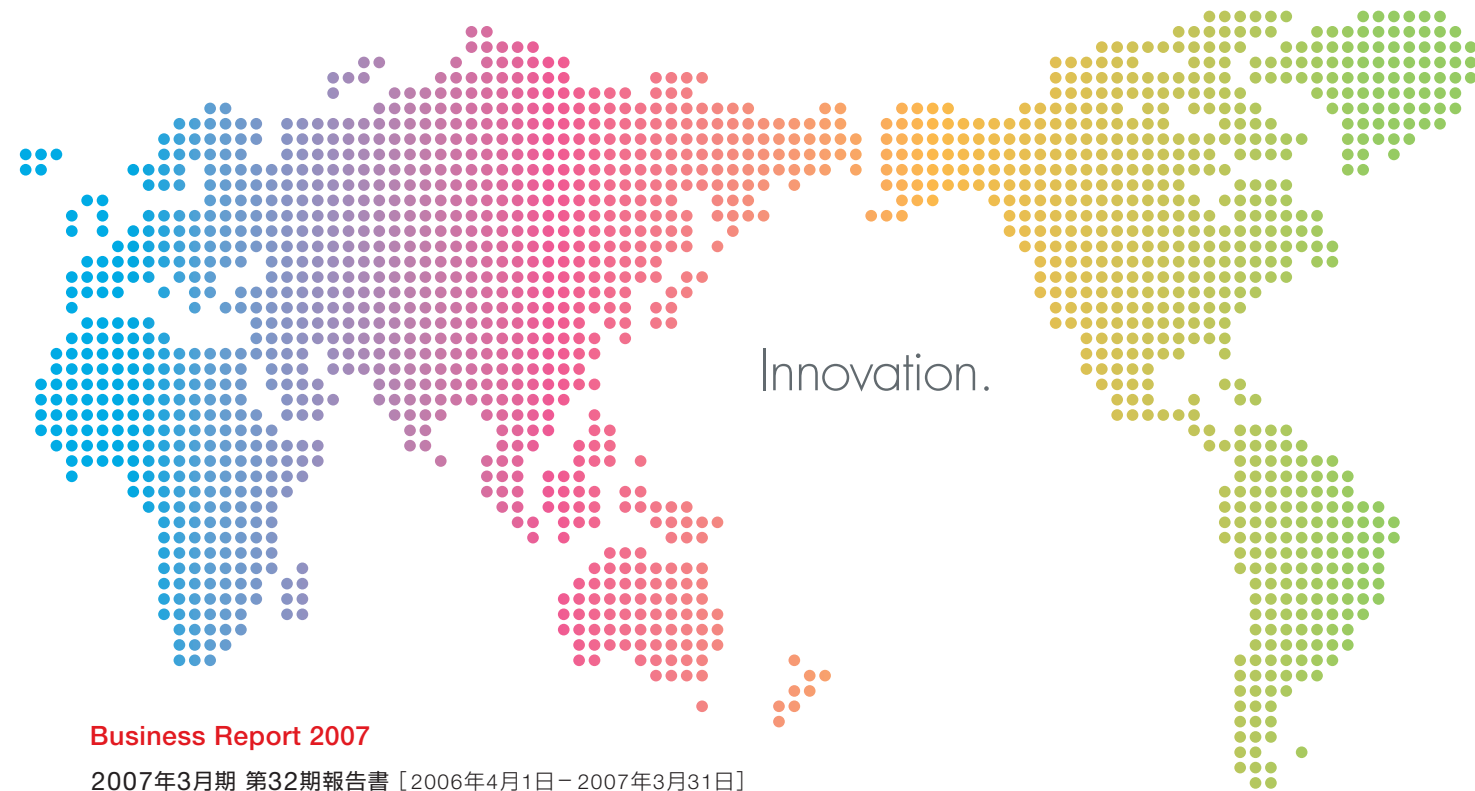
携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、
右のQRコードからもアクセスできます。



※本アンケートは、株式会社エーツーメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。（株式会社エーツーメディアについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>）
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」 TEL:03-5777-3900 MAIL:info@e-kabunushi.com

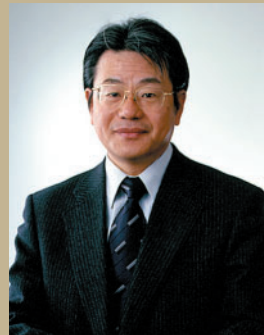


Business Report 2007

2007年3月期 第32期報告書 [2006年4月1日 - 2007年3月31日]

Mimaki

株式会社 ミマキエンジニアリング



株式会社ミマキエンジニアリング
代表取締役社長 池田 明

株主の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

ここに、当社第32期（2006年4月1日から2007年3月31日まで）における事業の概況につきましてご報告申し上げます。

当社は業務用広幅インクジェットプリンタ、カッティングプロッタを中心に開発・生産・販売を一貫して事業展開しております。広告・看板等の作成に使われるサイングラフィックス（SG）市場を主要市場として、近年では工業用製品の製造現場等で使われるインダストリアルプロダクト（IP）市場、布地へのダイレクトプリント等に使われるテキスタイルアパレル（TA）市場においても、当社技術を生かしたインクジェットプリンタ、カッティングプロッタの用途は拡大しており、お客様から高い評価を頂いております。

当社は今後の更なる成長発展のため、2007年3月15日にジャスダック証券取引所への株式上場を果たしました。これもひとえに株主様をはじめとする皆様方のご支援、ご指導の賜物と心から感謝申し上げます。

今後も皆様のご期待に沿えますよう、インクジェット&カッティング技術でオンデマンド生産をサポートする開発型企業として、市場に「新しさや違い」を提供するイノベーターを目指し努力を続けてまいり所存でございますので、なお一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

▶▶ 営業概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、原油価格高騰やゼロ金利解除による金利上昇懸念等不安要因があるものの、好調な企業業績を背景とした設備投資が好調に推移し、雇用・所得環境の改善が続き、個人消費も底堅く推移する等、景気は緩やかながら回復基調で推移いたしました。また、海外においては、アジア経済、特に中国経済においては景気抑制策を強めているものの引続き高成長を維持し、欧州経済においては、企業部門の好調持続と個人消費が増大し、また米国経済においても、住宅投資や設備投資の減少はありましたが、個人消費は堅調に推移いたしました。

このような経済環境の中、当社グループは、“徹底する”をスローガンに掲げ、お客様のオンデマンド・ビジネスをサポートするため、年度前半においては、SG（サイングラフィックス）市場向けの高速・高画質のインクジェットプリンタ（JV5シリーズ）を、また年度後半では、IP（インダストリアルプロダクト）市場向けの大型フラットベッドUV（紫外線）硬化インクジェットプリンタ（JFシリーズ）等を発売いたしました。

この間カスタマーサービス部門では、よりきめ細かなアフターサービスを目指し技術者のスキルアップ教育やテクニカルコールセンターの体制充実に取り組みました。

| | 機種群別売上高（連結） | | |
|--------|-------------|---------|---------|
| | 売上高(百万円) | 構成比率(%) | 対前期比(%) |
| SG市場向け | 18,387 | 78.8 | 28.3 |
| IP市場向け | 2,180 | 9.4 | 0.2 |
| TA市場向け | 1,385 | 5.9 | △6.4 |
| その他 | 1,384 | 5.9 | 20.0 |
| 合計 | 23,337 | 100.0 | 21.9 |

また、2006年4月にはテキスタイルアパレルのプリントサービスを行っております(株)グラフィッククリエーションを、TA(テキスタイルアパレル)市場における前処理から後処理に至るデジタルプリントのノウハウ蓄積を目的に100%子会社化し、2006年8月には、事業拡大に対応するため、旧本社（現：加沢工場）の近隣地に新本社・牧家工場を新設し、開発・管理部門、長野営業所、製造部門の一部、(株)ミマキプレジジョン等が移転し業務を開始いたしました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は233億37百万円（前連結会計年度比21.9%増）、営業利益は11億58百万円（同71.2%増）、経常利益は13億5百万円（同66.2%増）、当期純利益は7億71百万円（同104.4%増）となりました。

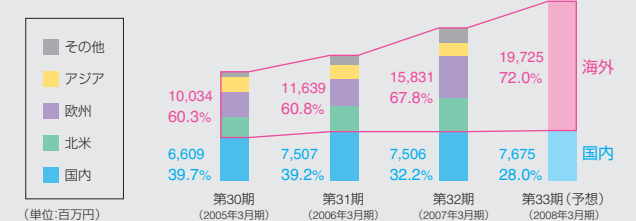
なお、当社グループはコンピュータ周辺機器事業の単一セグメントであり、当連結会計年度における機種群別および品目別の売上高は下記のとおりでございます。

| | 品目別売上高（連結） | | |
|------|------------|---------|---------|
| | 売上高(百万円) | 構成比率(%) | 対前期比(%) |
| 製品本体 | 12,690 | 54.4 | 13.4 |
| インク | 7,371 | 31.6 | 40.3 |
| その他 | 3,275 | 14.0 | 21.4 |
| 合計 | 23,337 | 100.0 | 21.9 |

▶▶ 次期の見通し

世界経済は、原油価格高騰等によるアメリカ経済の減速や中東アジア地域周辺の政情不安等懸念材料があるものの、底堅い推移が予想され、また、国内経済も原油価格高騰や金利上昇懸念等抱えているものの、企業収益力回復に伴う雇用・所得環境改善により、継続的な景気拡大が見込まれます。また、当社の対象市場であるSG市場・IP市場・TA市場とも、多品種少量生産、デジタル化の流れは急速に拡大しております。今後も当社グループの技術力を駆使することで、高画質・高速度等の「新しさや違い」を追求し、市場ニーズにマッチした製品を提供することで、その用途は着実に拡大し、市場に受け入れられていくと予想しております。

●国内・海外売上高



| | 次期（2008年3月期）業績予想（連結） | | | |
|-------|----------------------|----------|---------|--------|
| | 中間期 | | 通期 | |
| | 金額(百万円) | 当中間期比(%) | 金額(百万円) | 当期比(%) |
| 売上高 | 12,450 | 20.5 | 27,400 | 17.4 |
| 営業利益 | 370 | 24.3 | 1,450 | 25.1 |
| 経常利益 | 335 | △10.4 | 1,380 | 5.7 |
| 当期純利益 | 201 | △3.1 | 828 | 7.4 |

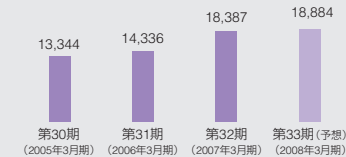
02 Our Vision

経営方針

対象市場別概況 06-07

SG (サイングラフィックス) 市場

●売上高 : 183億87百万円
●対前期比 : 28.3%増
(単位:百万円)



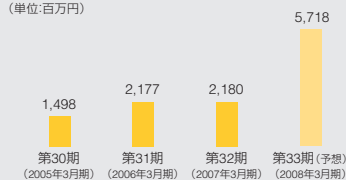
当市場向け製品は、広告・看板等のサイングラフィックス市場向けの機種群であります。クイックレスポンス、コスト低減、高画質が求められデジタル化が進むサイングラフィックス市場に向け、用途やプリント素材に応じ各種インクを使い分けた広幅インクジェットプリンタや文字・ロゴ・イラスト等の輪郭をカットするカッティングプロッタ等が含まれております。

2006年6月には、当社従来機種より高速で新機能を搭載した溶剤系インクジェットプリンタJV5-130S/160Sの本格出荷を開始し、各種展示会や営業拠点でのミニ展に出品したほか、2006年7月から8月にかけて発売記念キャンペーン等の積極的な販売活動を展開いたしました。また、現行主力機種のJV3シリーズも、特に海外子会社で引き続き底堅く販売台数を伸ばしました。

その結果、売上高は183億87百万円(前連結会計年度比28.3%増)となりました。

IP (インダストリアルプロダクト) 市場

●売上高 : 21億80百万円
●対前期比 : 0.2%増
(単位:百万円)



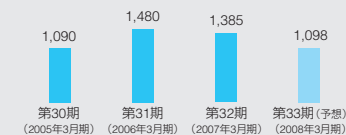
当市場向け製品は、工業製品の製造現場等のインダストリアルプロダクト向けの機種群であります。ユーザーの製造ラインに組み込まれ、生産合理化やコスト削減の実現に資するために、対象業種を問わず多種多様な素材にプリント可能なフラットベッド型のインクジェットプリンタやカッティングプロッタ等が含まれております。

2006年12月には、プラスチックダンボールやアクリルなどのノンコートの大判素材や硬質素材にもダイレクトプリントが可能な大型フラットベッドUV(紫外線)硬化インクジェットプリンタJF-1610/1631を、また2007年1月には、当社従来製品より高速で少量多品種の生産に適した各種工業用UV硬化インクジェットプリンタUJF-605C IIの本格出荷を開始いたしました。

その結果、売上高は21億80百万円(前連結会計年度比0.2%増)となりました。

TA (テキスタイルアパレル) 市場向け

●売上高 : 13億85百万円
●対前期比 : 6.4%減
(単位:百万円)

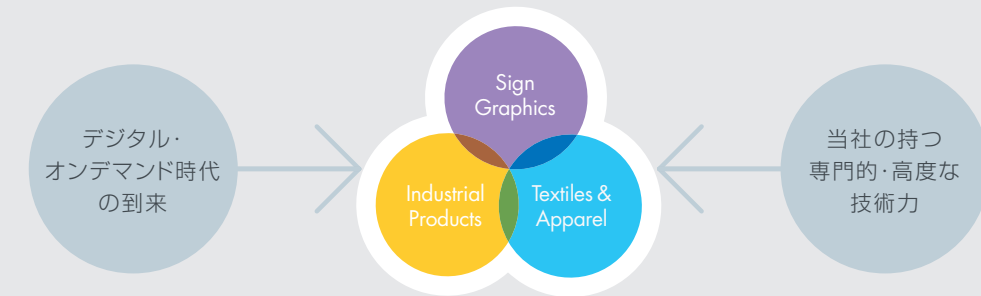


当市場向け製品は、裁断・縫製加工前の生地(テキスタイル)、Tシャツ等の既製服(アパレル)等の市場向け機種群であります。特に量産前のサンプル作成や少量多品種生産等クイックレスポンスを必要とするユーザーニーズに応えるために、ダイレクトプリントが提案可能なインクジェットプリンタ等が含まれております。

当連結会計年度におきましては、デジタルプリントビジネスの拡大を目論み、Tシャツプリント工程での前処理から後処理までのトータルパッケージのノウハウ蓄積に取り組み、年度末までにトータルソリューションの提供販売が可能となる体制が整いましたが、当年度内での売上には貢献できず、現行機種の販売・サービスに注力いたしました。その結果、売上高は13億85百万円(前連結会計年度比6.4%減)となりました。

Always an innovator. つねにイノベーターであり続けるために――

ミマキエンジニアリングはインクジェットとカッティング技術を柱とする市場志向の「開発型企業」です。



SG市場

積極的グローバル展開によって、SG市場における業界トップを目指します。

商品戦略：先進国市場向けの高級機種及び新興経済発展地域向け(主にBRICs諸国)のローコスト機種開発による製品ラインナップの拡充
販売戦略：東京・米国・オランダの3拠点体制の確立と、新興経済発展地域(主にBRICs諸国)等を含めたグローバルな販売体制の再整備による「MIMAKI」ブランドの浸透

IP市場

デジタル・オンデマンド・マニュファクチャリングを推進し、第2の柱となる事業領域を確立します。

商品戦略：各種産業分野における多様な素材への高画質プリントを実現し、デジタル化、オンデマンド生産、多品種少量生産をサポートするUVインクジェットプリンタの生産性向上
販売戦略：業界の企業の立場となって、その生産現場の課題に対するソリューション提案による用途拡大を推進

TA市場

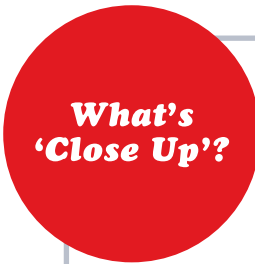
トータルソリューションを提供し、デジタル化の推進に取り組みます。

商品戦略：プリントビジネスをサポートするインクジェットプリンタに前処理から後処理までのノウハウを含めたトータルパッケージの確立
販売戦略：トータルパッケージのノウハウ蓄積によりトータルソリューションを提供し、消費地近隣でのプリントビジネスを推進

特徴

当社グループでは、インクジェットプリンタ・カッティングプロッタ等の製造・販売を通じ、お客様のオンデマンド・ビジネスをサポートするため、下記の4項目を経営ビジョンとして掲げております。

- ① 独自技術を保有し、自社ブランド製品を世界に供給する「開発型企業」を目指します。
- ② 顧客に満足いただける商品を素早く提供する小回りの利いた会社を目指します。
- ③ 市場に常に「新しさの違い」を提供するイノベーターを目指します。
- ④ 各人が持っている個性・能力を一杯発揮できる企業風土を目指します。



2007年5月、インクジェットの新たな可能性を広げる新機種を同時発売。

JV5-260S/320Sは、高画質・高速プリントを追求したJV5シリーズの中でも、より広幅のプリントに適した新機能を搭載した高性能機種です。JV33-130/160は、2002年のインクジェット市場で革命機となった当社JV3シリーズの後継機種と位置づけられ、ソルベントインクジェットプリントにおける最高画質を再現しながらも、今回、より多くのユーザー様にご使用いただくために低価格を実現いたしました。当社は、市場ニーズに迅速に対応する開発力を基盤に、今後ともユーザーの皆様のご期待に応えるべく進化を続けてまいります。

さらに速く、美しく。待望のJV3後継機。
ワイドフォーマットインクジェットプリンタ。

JV33 Series
JV33-130 / JV33-160



1.61m

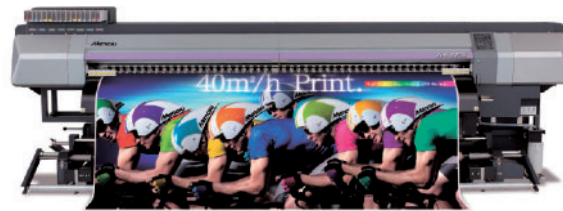
[JV33-130/JV33-160の主な特長]

- ①JV5と同じ高速プリントヘッドを搭載、従来比1.3倍のプリント速度を実現
- ②アフターヒーターにより高速プリント時の乾燥を促進
- ③UISS(ダブルカートリッジ自動切換え機能)により長時間連続プリントを実現
- ④用途に応じた4種類のインクを用意
- ⑤RIPソフトウェア: Raster Link Pro IIIを標準添付

[主な仕様] ○最大プリント幅: JV33-130 (1,361mm) / JV33-160 (1,610mm) ○インク: 専用ソルベントインク / SS21, ES3 (440cc/カートリッジ) 専用水性顔料インク / (220cc/カートリッジ) 専用昇華転写インク / Sb51 (440cc/カートリッジ) (水性インク (顔料・昇華転写) は、本体インストール時に選択。4色モード、6色モードを切り替え可能) ○解像度: 540、720、1,440dpi ○インタフェース: USB-2.0

国内最大3.25m幅を高速・高画質でプリント。
グランドフォーマットインクジェットプリンタ。

JV5 Series
JV5-260S / JV5-320S



3.25m

[JV5-260S/JV5-320Sの主な特長]

- ①高速プリントヘッドをスタガ配列、超高速プリントを実現
- ②ワイドメディアにも安心、重量繰り出し・巻取り装置を装備
- ③UISS(ダブルカートリッジ自動切換え機能)により長時間連続プリントを実現
- ④ノズル抜け自動検出機能によりインクやメディアの無駄を低減
- ⑤ヘッド高さの自動調節機能によりメディアが変わっても安定したプリント
- ⑥用途に応じた2つのインクを用意
- ⑦RIPソフトウェア: Raster Link Pro IIIを標準添付

[主な仕様] ○最大プリント幅: JV5-320S (3,250mm) / JV5-260S (2,600mm) ○インク: 専用ソルベントインク HS、ES3 (440cc/カートリッジ) (4色モード、6/8色モードを切り替え可能) ○解像度: 540、720、1,440dpi ○インタフェース: USB-2.0

▶▶ 単体貸借対照表(要旨)

(単位: 百万円)

| 科目 | 前期 | 当期 |
|--------------|--------------|--------------|
| | 2006年3月31日現在 | 2007年3月31日現在 |
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | 10,477 | 14,844 |
| 固定資産 | 5,221 | 5,847 |
| 有形固定資産 | 4,171 | 4,580 |
| 無形固定資産 | 344 | 267 |
| 投資その他の資産 | 705 | 999 |
| 資産合計 | 15,699 | 20,692 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | 10,114 | 14,033 |
| 固定負債 | 2,512 | 1,407 |
| 負債合計 | 12,626 | 15,441 |
| 資本の部 | | |
| 資本金 | 308 | — |
| 資本剰余金 | 196 | — |
| 利益剰余金 | 2,560 | — |
| その他有価証券評価差額金 | 8 | — |
| 資本合計 | 3,073 | — |
| 負債資本合計 | 15,699 | — |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | — | 5,246 |
| 資本金 | — | 1,219 |
| 資本剰余金 | — | 1,107 |
| 利益剰余金 | — | 2,920 |
| 評価・換算差額等 | — | 4 |
| 純資産合計 | — | 5,251 |
| 負債純資産合計 | — | 20,692 |

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

▶▶ 単体損益計算書(要旨)

(単位: 百万円)

| 科目 | 前期 | 当期 |
|-----------------|---------------------------|---------------------------|
| | 自2006年4月1日 至2006年3月31日 | 自2006年4月1日 至2007年3月31日 |
| 売上高 | 17,668 | 20,890 |
| 売上原価 | 11,040 | 13,229 |
| 売上総利益 | 6,627 | 7,661 |
| 販売費及び一般管理費 | 6,197 | 6,828 |
| 営業利益 | 430 | 833 |
| 営業外収益 | 201 | 292 |
| 営業外費用 | 99 | 165 |
| 経常利益 | 532 | 959 |
| 特別利益 | 18 | 3 |
| 特別損失 | 3 | 88 |
| 税引前当期純利益 | 547 | 874 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 197 | 410 |
| 過年度法人税等 | — | 126 |
| 法人税等調整額 | △25 | △71 |
| 当期純利益 | 375 | 409 |
| 前期繰越利益 | 117 | — |
| 当期未処分利益 | 493 | — |

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

▶▶ 単体株主資本等変動計算書(要旨)

当期(自2006年4月1日 至2007年3月31日)

(単位: 百万円)

| 科目 | 株主資本 | | | | 評価・換算差額等 | 純資産合計 |
|-------------------------|-------|-------|-------|--------|----------|-------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 株主資本合計 | | |
| 2006年3月31日残高 | 308 | 196 | 2,560 | 3,064 | 8 | 3,073 |
| 事業年度中の変動額 | | | | | | |
| 新株の発行 | 911 | 911 | — | 1,822 | — | 1,822 |
| 剰余金の配当(注) | — | — | △50 | △50 | — | △50 |
| 当期純利益 | — | — | 409 | 409 | — | 409 |
| 株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額) | — | — | — | — | △3 | △3 |
| 事業年度中の変動額合計 | 911 | 911 | 359 | 2,182 | △3 | 2,178 |
| 2007年3月31日残高 | 1,219 | 1,107 | 2,920 | 5,246 | 4 | 5,251 |

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(注) 2006年6月の定時株主総会における利益処分項目であります。

▶▶ 連結貸借対照表(要旨)

| 科目 | 前期 | 当期 |
|-------------|--------------|--------------|
| | 2006年3月31日現在 | 2007年3月31日現在 |
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | 10,772 | 15,876 |
| 固定資産 | 5,322 | 5,894 |
| 有形固定資産 | 4,353 | 4,882 |
| 無形固定資産 | 373 | 299 |
| 投資その他の資産 | 596 | 712 |
| 資産合計 | 16,095 | 21,770 |

(単位：百万円)

| 科目 | 前期 | 当期 |
|--------------|--------------|--------------|
| | 2006年3月31日現在 | 2007年3月31日現在 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | 10,256 | 14,463 |
| 固定負債 | 2,585 | 1,462 |
| 負債合計 | 12,842 | 15,926 |
| 資本の部 | | |
| 資本金 | 308 | — |
| 資本剰余金 | 196 | — |
| 利益剰余金 | 2,693 | — |
| その他有価証券評価差額金 | 8 | — |
| 為替換算調整勘定 | 46 | — |
| 資本合計 | 3,252 | — |
| 負債、資本合計 | 16,095 | — |

| 純資産の部 | | |
|----------|---|--------|
| 株主資本 | — | 5,739 |
| 資本金 | — | 1,219 |
| 資本剰余金 | — | 1,107 |
| 利益剰余金 | — | 3,412 |
| 評価・換算差額等 | — | 105 |
| 純資産合計 | — | 5,844 |
| 負債純資産合計 | — | 21,770 |

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

▶▶ 連結損益計算書(要旨)

| 科目 | 前期 | 当期 |
|--------------------|---------------------------|---------------------------|
| | 自2005年4月1日 至2006年3月31日 | 自2006年4月1日 至2007年3月31日 |
| 売上高 | 19,147 | 23,337 |
| 売上原価 | 10,993 | 13,402 |
| 売上総利益 | 8,153 | 9,935 |
| 販売費及び一般管理費 | 7,476 | 8,776 |
| 営業利益 | 676 | 1,158 |
| 営業外収益 | 198 | 289 |
| 営業外費用 | 89 | 143 |
| 経常利益 | 785 | 1,305 |
| 特別利益 | 12 | 9 |
| 特別損失 | 8 | 104 |
| 税金等調整前当期純利益 | 788 | 1,210 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 355 | 563 |
| 過年度法人税等 | — | 126 |
| 法人税等調整額 | 56 | △251 |
| 当期純利益 | 377 | 771 |

(単位：百万円)

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

▶▶ 連結株主資本等変動計算書(要旨) 当期(自2006年4月1日至2007年3月31日)

(単位：百万円)

| 科目 | 株主資本 | | | | 評価・換算差額等 | 純資産合計 |
|---------------------------|-------|-------|-------|--------|----------|-------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 株主資本合計 | | |
| 2006年3月31日残高 | 308 | 196 | 2,693 | 3,197 | 54 | 3,252 |
| 連結会計年度中の変動額 | | | | | | |
| 新株の発行 | 911 | 911 | — | 1,822 | — | 1,822 |
| 剰余金の配当(注) | — | — | △50 | △50 | — | △50 |
| 役員賞与(注) | — | — | △2 | △2 | — | △2 |
| 当期純利益 | — | — | 771 | 771 | — | 771 |
| 株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額) | — | — | — | — | 50 | 50 |
| 連結会計年度中の変動額合計 | 911 | 911 | 719 | 2,541 | 50 | 2,591 |
| 2007年3月31日残高 | 1,219 | 1,107 | 3,412 | 5,739 | 105 | 5,844 |

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

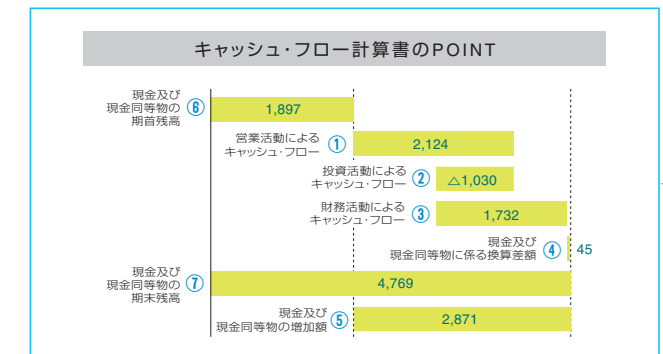
(注) 2006年6月の定時株主総会における利益処分項目であります。

▶▶ キャッシュ・フロー計算書(要旨)

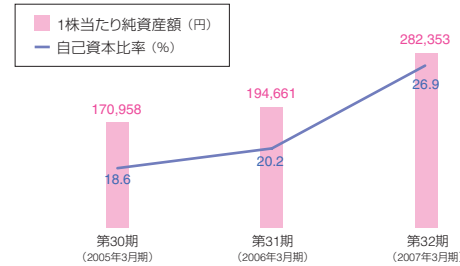
(単位：百万円)

| 科目 | 当期 |
|--------------------|---------------------------|
| | 自2006年4月1日 至2007年3月31日 |
| ① 営業活動によるキャッシュ・フロー | 2,124 |
| ② 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,030 |
| ③ 財務活動によるキャッシュ・フロー | 1,732 |
| ④ 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 45 |
| ⑤ 現金及び現金同等物の増加額 | 2,871 |
| ⑥ 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,897 |
| ⑦ 現金及び現金同等物の期末残高 | 4,769 |

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。



1株当たり純資産額 & 自己資本比率(連結)



▶▶ 沿革

1975

- 8月 有限会社ミマキエンジニアリング設立 (資本金100万円)
- 1976 10月 時計用水晶振動子の精密部品組立開始
- 1979 3月 東京営業所開設
- 1981 5月 株式会社ミマキエンジニアリングに改組
- 1983 12月 OEM向けA2フラットベッドペンプロッタ「RY-1003」開発開始
- 1984 5月 東京営業所を東京都渋谷区に移転し、東京支社に組織変更
- 9月 資本金を1億2,000万円に増資
- 1985 2月 「北斎」の商標で、A2フラットペンプロッタ販売開始
- 1986 3月 加沢工場操業開始
- 6月 大阪営業所開設
- 9月 名古屋営業所開設
- 1988 6月 加沢工場増資完了に伴い、本社事務所移転
- 1990 4月 各営業所開設 (福岡、広島、仙台、札幌、金沢)
- 1995 10月
- 1994 1月 東京支社を東京都品川区に移転、ショールームオープン
- 1995 7月 台湾御牧股份有限公司設立
- 1999 1月 ISO 9001認証 (審査登録)
- 9月 MIMAKI USA, INC. 設立

- 2003 1月 大阪支店にショールームオープン
- 2月 MIMAKI USA, INC. をアメリカ合衆国ジョージア州スワニー市に移転
- 6月 MIMAKI USA, INC. Boston支店開設
- 10月 長野開発センター開設
- 2004 2月 MIMAKI USA, INC. Los Angeles支店開設
- 3月 資本金を2億800万円に増資
- 4月 株式会社ミマキプレジジョン設立
- 4月 さいたま、熊本営業所開設
- 4月 MIMAKI EUROPE B.V. 設立
- 5月 本社新社屋竣工、操業開始
- 6月 株式会社ウイズテックを子会社化
- 9月 資本金を3億800万円に増資
- 9月 MIMAKI USA, INC. Chicago支店開設
- 2005 4月 テクニカルコールセンター開設
- 2006 4月 株式会社グラフィッククリエーションの発行済株式の100%を取得
- 8月 本社を長野県東御市滋野乙に移転

2007

- 3月 ジャスダック証券取引所上場、資本金を12億1,940万円に増資

▶▶ グループネットワーク

● 関連会社案内

MIMAKI USA, INC.
140 Satellite Boulevard NE
Suite B-2 Suwanee, GA 30024
<http://www.mimakiusa.com>



Mimaki USAは1999年、アメリカ南部の中心であるジョージア州アトランタ市郊外の自然豊かな環境の中にオフィスを開業。現在、Atlanta, Boston, Chicago, Los Angelesの4ヶ所に営業所とサービス拠点をもち、全米をカバーしています。

MIMAKI EUROPE B.V.
Joan Muyskenweg 42-44,
1099CK Amsterdam
<http://www.mimakieurope.com>



Mimaki Europeは2004年、欧州の交通の要衝で各国へのアクセスの便利なオランダのアムステルダム市に設立、発展著しいロシアも含む全欧州の販売・サポートを各国の代理店、ディーラーを通じて行っております。またロッテルダムに倉庫を持ち、ここから欧州全域に商品を提供しています。

株式会社グラフィッククリエーション
〒107-0052
東京都港区赤坂1-5-12第二虎ノ門ビル
<http://www.graphic-creation.com>



GCCは2004年に、インクジェットプリンタによるデジタルプリントサービスを目的に設立、2006年6月に東京営業所を赤坂に移転しショールームも開設いたしました。捺染用の前処理を含むデジタルプリントのパイロット工場を運営し、各種産業用プリントサービスも行っています。

台湾御牧股份有限公司
台中縣潭子鄉中山路3段37號



1995年に台湾の台北市近郊で部品調達を開始、1996年に現在の台北市近郊に移転し、ミマキ以外の日本企業への樹脂成型品(型)等の受注も行っています。台湾企業の中国大陸への進出もあり調達は中国本土にも拡大、より安価で信頼できる各種部品および金型の調達を行っています。

株式会社ミマキプレジジョン
〒389-0512
長野県東御市滋野乙2182-3



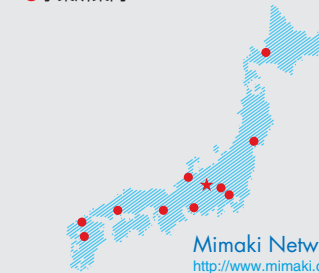
ミマキプレジジョンは2004年、ミマキ本体の加工・金型部門が分離独立して設立されました。最新鋭のマシニングセンター、放電加工機、板金加工機等を持ち、現在ではミマキ以外の顧客にも高精度のミーリング部品および治具加工部品などを納品しています。

株式会社ウイズテック
〒192-0903
東京都八王子市万町1-3
<http://www.wiztec.co.jp/>



ウイズテックは1994年に設立された、メカトロニクスを得意とするスペシャリストの集団です。メカトロニクス、ハードウェア、ファームウェアの設計・開発や、プロッタ、プリンタ、計測機器の受託開発・OEM供給などを行っています。

● 事業所案内



- ★ **本社・牧家工場** 〒389-0512 長野県東御市滋野乙2182-3
- 加沢工場** 〒389-0514 長野県東御市加沢1333-3
- 長野開発センター** 〒380-0803 長野県長野市三輪1-8-14
- 東京支社** 〒141-0001 東京都品川区北品川15-9-41
TKB御殿山ビル
- 大阪支店** 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町1-13-41
明治安田生命江坂ビル
- 札幌営業所** 〒060-0032 北海道札幌市中央区北2条東1-5-2
サニープリンス1F
- 仙台営業所** 〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉1-6-22
サンビル1F

- 長野営業所** 〒389-0512 長野県東御市滋野乙2182-3
- さいたま営業所** 〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤5-8-41
読売浦和ビル1F
- 金沢営業所** 〒920-0027 石川県金沢市駅西新町2丁目12-6
- 名古屋営業所** 〒465-0052 愛知県名古屋市中天白区井口1-309
- 広島営業所** 〒731-0101 広島県広島市安佐南区八木1-7-25
- 福岡営業所** 〒812-0041 福岡県福岡市博多区吉塚5-11-15
- 熊本営業所** 〒861-8028 熊本県熊本市新南區4-7-38
オーエムビル1F

※ 会社概要 (2007年3月31日現在)

商号 株式会社ミマキエンジニアリング
 設立 1975年8月
 資本金 12億1,940万円
 本社・工場 長野県東御市滋野乙2182-3
 従業員 427名
 事業内容 コンピュータ周辺機器および
 ソフトウェアの開発・製造・販売
 主な取引銀行 (株)八十二銀行・(株)三菱東京UFJ銀行
 (株)三井住友銀行・(株)みずほ銀行

※ 役員 (2007年6月27日現在)

代表取締役社長 池田 明
 代表取締役副社長 野口 幹夫
 専務取締役 藤田 正秋
 専務取締役 小林 久之
 取締役 大西 勝
 取締役 今田 新太郎
 取締役 手塚 千加雄
 取締役 佐金 榮
 取締役相談役 田中 規幸
 常勤監査役 今井 征芳
 監査役 岩下 智和
 監査役 大沼 孝雄

※ 株主メモ

事業年度 4月1日から3月31日まで
 定時株主総会 毎事業年度終了後3ヶ月以内
 基準日 定時株主総会 3月31日
 期末配当 3月31日
 中間配当 9月30日
 その他必要があるときは、あらかじめ公告して
 定めた日
 単元株式数 単元株制度無し
 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
 三菱UFJ信託銀行株式会社
 同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 同連絡先 〒137-8081
 東京都江東区東砂七丁目10番11号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 ☎0120-232-711
 同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
 公告方法 当社ホームページ (<http://www.mimaki.co.jp/>)
 に掲載致します。ただし、電子公告によるこ
 とができないやむを得ない事由が生じた場合
 は、日本経済新聞に掲載致します。
 上場証券取引所 ジャスダック証券取引所
 証券コード 6638

※ 株式の状況 (2007年3月31日現在)

発行可能株式総数 66,800株
 発行済株式の総数 20,700株
 株主数 1,308名
 大株主の状況

| 株主名 | 持株数(株) | 出資比率(%) |
|---|--------|---------|
| 株式会社池田ホールディングス | 3,500 | 16.91 |
| ミマキエンジニアリング従業員持株会 | 2,658 | 12.84 |
| 田中 規幸 | 2,064 | 9.97 |
| 有限会社田中企画 | 2,000 | 9.66 |
| 東京中小企業投資育成株式会社 | 1,770 | 8.55 |
| 株式会社八十二銀行 | 700 | 3.38 |
| エプソンアヴァシス株式会社 | 600 | 2.90 |
| 池田 明 | 526 | 2.54 |
| ザチースマンハッタンバンクエヌエイロンドン エスエルオムニバスアカウント 常任代理人 株式会社みずほコーポレート銀行 兜町証券決済業務室 | 418 | 2.02 |
| 田中 芳子 | 400 | 1.93 |

株式の分布状況

